

# SSU NEWS

SHIZUOKA SANGYO UNIVERSITY



静岡産業大学

SSUから発信中!!

特集1

学生の力、地域へ。

特集2

We are Top Athletes.

NOV. 2025  
VOL. 42  
静岡産業大学広報誌

SSU NEWS NOV. 2025 VOL. 42

【発行】SSU NEWS企画・編集会議 学校法人新静岡学園 静岡産業大学

【発行日】2025年11月15日発行 藩枝キャンパス／〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号 TEL 054-645-0191(代表) 藩田キャンパス／〒438-0043 静岡県藤田市大原1572番地 TEL 0539-31-0191(代表) 藩枝駅前サテライトキャンパス BV1キャンパス／〒426-0067 静岡県藤枝市前島1丁目7番10号 TEL 054-639-7164



学校法人新静岡学園  
静岡産業大学

大学ホームページはこちら▶



Instagramはこちら▶



Webサイトは  
こちらから!

研究のこんなところが面白い!を静岡産業大学の教員が  
リレーエッセイ形式でWeb公開中!

教員という仕事は今、大きな変革期を迎えています。長時間労働の主体を学校から地域へと移す「地域展開」という2つの改革の波が押し寄せていました。特に、中学校の保健体育科教員を目指す皆さんにとって、どのような資質や能力が求められているのか、一緒に考えて行きましょう。

## 部活動の地域展開がもたらす変化

部活動の地域展開は、教員の長時間労働を解消する重要な取り組みです。これまで教員は授業やクラス運営に加え、放課後の部活動指導に多くの時間を費やしていました。これが地域に移されることで、教員は本来の業務に集中できるようになります。

しかし一方で、部活動指導に情熱を注いだきた教員が指導の機会を失ってしまい、教員として活動する道はありませんが、教育委員会の「兼職兼業」許可が必要であります。地域クラブの指導者として活動する道はありますが、教育委員会の「兼職兼業」許可が必要であります。従来のように学校教育活動の一環として継続的に指導することが難しくなる点は、保健体育科教員志望者にとって悩ましい問題と言えるかもしれません。

この課題を乗り越え、教員としての本務と地域でのクラブ指導を両立させるた

めに必要な資質・能力を以下に示します。

## ②多様な人々と協働する

「ミニミニケーション能力

①時間管理能力とキャリアデザイン力  
最も重要なのは時間管理能力です。教員は限られた時間の中で授業を準備し、事務作業を効率的に進めなければなりません。ICTを活用した教材作成や評価の効率化、同僚との業務分担は不可欠です。これらの工夫が

部活動が地域へ移行すると、指導は学校から地域指導者や保護者へ広がり、教員は連携して子どもを支える役割を担います。校内ではクラブとの情報共有や放課後の居場所づくりを検討する機会が増え、地域では安全や指導法の工夫を協働で進めることが求められます。異なる価値観を持つ方々と対話し、それぞれの専門性を授業に還元することは、学校完結型では得られない学びと成長の機会となるでしょう。



「ハイブリッドな教員像」を目指して  
保健体育科教員を志す皆さんには、学校業務にとどまらず地域社会とも関わる「ハイブリッドな教員像」を目指して欲しいと思います。授業や校務を効率化し、その成果を地域での活動に活かす。このサイクルを築くことで、働き方改革の中でも教員としてのやりがいと生活の充実を両立できるのではないかでしょうか。

教員という仕事は、子どもたちの成長を間近で見守り、喜びや感動を分かち合えるかけがえのない仕事です。自分らしいキャリアを描き、充実した教員生活を送れるよう、「今」を大切にしてください。新しい時代に求められる資質を磨き、子どもたちの未来を創る素晴らしい教員になることを心から願っています。

運動の余裕を生み出します。  
さらに、自分のキャリアを長期的に描く力も求められます。若手のうちには授業研究に集中し、中堅期には地域との連携を深めるなど、教員としての成長ロードマップを描くことが重要です。

また、地域での活動の余裕を生み出します。さらに、自分のキャリアを長期的に描く力も求められます。若手のうちには授業研究に集中し、中堅期には地域との連携を深めるなど、教員としての成長ロードマップを描くことが重要です。

一人ひとりが  
主役となり、  
未来へ羽ばたく。



好きが高じてプロの道へ。  
インラインスケートで  
世界を目指す。

6歳からスケボー少年だった岩間さん。2歳上の兄の影響とスケートパーク運営者との出会いをきっかけに、9歳からインラインスケートに熱中するよう。15歳で全日本選手権大会優勝、高校生でプロデビューを果たし、2024年には世界大会に初出場しました。「目標は世界大会でベスト12に入り決勝に進むこと。並行して子どもたちの指導も行っているので、滑ることの楽しさを伝えていきたいです」。

経営学部 経営学科  
岩間 蓮さん 3年  
静岡県立清水西高等学校出身

# 学生の力、地域へ。

## 地域と歩むクラブ・サークル紹介

地域とともに学び、社会で生きる力を育む「実学教育」を軸とする静岡産業大学。今回の特集では、地域と連携した多彩なクラブ・サークル活動を通じて、地域に笑顔を届けながら成長していく学生たちの取り組みを紹介します。



### 子どもたちにトランポリンを教えながら自分も成長

**坪井** トランポリン部では地域の未就学児から小・中学生を対象としたトランポリンスクールを開講しています。

スクール生は約70名で、私はトランポリンを初めて体験する子どもたちが多いクラスを担当しています。

**樋渡** たくさんの子どもたちが通っているんだね。教えるのはもともと得意なほう？

**坪井** それがまったく得意ではなくて、子どもたちと一緒に自分も成長している感覚かな。今もそうですが、私が子どもの頃にトランポリンをやっていて一番うれしい瞬間は、できなかつたことができるようになった時。スクールに通う子どもたちにも、そんな瞬間をたくさん味わってほしいです。

### 若者の投票率を上げよう！ 投票済証をデザイン

**樋渡** アート部ではさまざまな地域連携活動を行っています。代表的な選挙で交付される「投票済証明書（以下、「投票済証」とします。）」の

デザイン制作。若者の投票率アップを目指して先輩が磐田市に提案をして始まった取り組みで、私も過去にデザインを担当させてもらいました。今年7月には、「磐田市制20周年記念投票済証明書パネル展」を磐田市役所で開催していただき、私や先輩たちがデザインした投票済証をたくさんの方に見てもらうことができました。「磐田市の投票済証がかわいい！」といったSNS投稿があったり、同級生から「選挙に行つてもらってきたよ！」というメッセージをもらったり、若者の投票率はどうですか？

**アーマド** インドネシアのほうが若者

の投票率は高いですよ。というのも平均年齢が29・1歳（※）と低く、若い人自身が多いのです。インドネシアには投票済証はありませんが、選挙関連の動画やボスターなどを高校生や大学生がよく制作しています。こうした背景もあるので、磐田市と取り組んでいる投票済証の活動はこれからもぜひ続けていきたいですね。

### 今、地域のためにやりたいことは？

**坪井** トランポリンスクールは純粋にトランポリンを楽しむ場所ではあるんですけど、子どもたちにとっては、安心できるコミュニケーションでもあるのかなと。学校も学年も違う子が集まり、

そこに大学生もいる場所ってあまりないと思うんです。学校とは違う関係性の中で人間性を育んだり、地域との結びつきを感じてもらえたうれしいです。そういう意味でも、スクール生全員が集まるれるようなイベントを開催できると楽しいかなと思います。

**樋渡** いいね！楽しそう！私は、投票済証のデザイン制作をもつと他の地域でも展開していきたいです。例えば、私の地元の浜松市。大学生がデザインしたことによる話題性で、選挙への関心を高められるのではないかと思います。

**アーマド** 樋渡さん、坪井さん、ぜひ実現してください！私は子どもたちの自己肯定感を高められるような活動をしたいです。例えば、図画工作の作品や夏休みの自由研究などを広場に展示して、誰でも自由に見られるようになります。日本に来て感じるのは、子どもが自分を表現し、それを認めてもらえる場が少ないことです。私の母国には何でも人に見てもらう文化があり、子どもたちはとても自信に満ちています。日本でこうした活動を実現するにはいろいろな人の協力が必要ですが、卒業するまでにつまつま叶えたいと思っています！



▶トランポリン部  
スポーツ科学部 スポーツ科学科 3年  
坪井 綾音さん  
(静岡県・焼津高等学校出身)

▶アート部  
経営学部 経営学科 4年  
アーマド・チャイルデン・ムーアルシャーさん  
(インドネシア出身／湘南日本語学園浜松校卒業)

▶アート部  
経営学部 経営学科 3年  
樋渡 マリアさん  
(静岡県立浜松大平台高等学校出身)

## アート部

### 磐田市と連携！イルミネーションのコンセプト案を企画



アートを通して自己表現を楽しむクラブです。毎回、速写（クロッキー）を行い、その後はコラージュやデッサンなどの創作活動に取り組んでいます。2023年からは磐田市と連携し、磐田駅前イルミネーションのデザインコンセプトを担当。駅を訪れる中高生にも楽しんでもらえるよう、学生がマッピングデザインを考案しています。この活動が評価され、昨年からは市内の他のイルミネーション企画にも参加しています。

#### STEP 1 STEP 2 STEP 3



磐田市から依頼のもと、コンセプト案を部員で作成



業者選定のためのプロポーザルに参加



10月下旬、点灯式。イルミネーションが駅前を彩る



#### VOICE

初めてイルミネーションの企画に携わった時は、「まさか自分が普段利用している駅のイルミネーションをデザインできるなんて！」という驚きでいっぱいでした。点灯式には多くの方が訪れてくださり、これが地域に貢献することなんだと改めて実感。これからも、見る人が明るい気持ちになれるような活動に、積極的に挑戦していきたいです。

経営学部 経営学科 3年 武内 亜椰華さん（静岡県・屋久島おおぞら高等学校出身）

## トランポリン部

### 地域の子どもたちに向けたスクールを開催！



トランポリンの強豪校として、国内トップレベルの選手を多数輩出しているクラブです。ただ強いだけではなく、地域から愛されるクラブであることが大切だと考え、2012年から子どもたちを対象としたトランポリンスクールを開講しています。2021年には選手育成クラスを創設し、学生も指導にあたりながら、全国大会出場を目指す子どもたちの夢をサポートしています。

#### STEP 1 STEP 2 STEP 3



2012年 SSUトランポリンスクールが開講



2021年 選手育成クラス創設、一般と分けて指導



2024年 選手育成クラスの指導に学生も関わる



#### VOICE

個人競技であるトランポリンで、自分が良くも悪くも感覚頼りであること課題に感じたコーチが、他者と関わるスクール担当に私を抜擢してくれました。子どもたちを指導する中で、人に何かを伝えるには、自分の思いや考え方を言語化する力が必要だと気づきました。子どもたちから学ぶことも多く、それが自身の競技力向上にもつながっていると感じています。

スポーツ科学部 スポーツ科学科 3年 川添 奏さん（鹿児島県・樟南高等学校出身）

## 東部・伊豆 サークル

### 県知事や市町長、企業に向けた提言を発表！



富士川以東のエリアに出向き、地域の魅力や課題を探り、それを地域の方々にフィードバックすることが主な活動です。現地調査で分かったことは、静岡県東部・伊豆地区は観光と暮らしが両立し、全国的に見てもポテンシャルの高い地域であること。2025年6月には、県知事や市町長、企業関係者など約170名が参加した「サンフロンコン21懇話会」で、私たちの考察や提言を発表しました。

#### STEP 1 STEP 2 STEP 3



現地に向き、地域住民にインタビュー



メンバーで地域の課題や魅力を考察



自分たちなりの見解を地域の方々にフィードバック



#### VOICE

メンバーのはとんどが東部・伊豆地区出身で、代表を務める私も沼津市出身です。サークル活動を通して、生まれ育ってきたまちの新しい魅力を再発見したり、移住・定住の成功の裏にある苦労を垣間見たりと、さまざまな気づきを得られました。今後は情報の共有から体験の共有にステップアップし、地域のイベントのお手伝いなどもしていきたいです。

経営学部 経営学科 4年 佐野 岬希さん（静岡県・桐陽高等学校出身）

## 地域情報誌 制作チーム

### 地域情報誌「いわタミン」の制作に携わっています



中部電力株式会社が磐田市エリアで年4回発行している情報誌「いわタミン」を、浜松市の良い広告株式会社の社員の方と共同で制作しています。私たちは発行2か月前から準備を始め、主に紙面レイアウトのたたき合作成、取材・執筆、取材先への原稿確認を担当しています。磐田市にゆかりのある方への取材や、市内の名所・産業の調査を通して、磐田のコアな魅力を市民の皆さんにお届けしています。

#### STEP 1 STEP 2 STEP 3



取材先情報をもとに、紙面レイアウトを作成



施設や店舗、イベントなどを取材して記事を執筆



「いわタミン」完成！毎号1,500部発行されています



#### VOICE

磐田市出身の私でも知らない地域情報に触れることができ、ますます磐田市が好きになりました。就職活動でもクラブの取り組みを高く評価していただき、私の大学生活に欠かせない活動になっています。現在のメンバーは私が除いて全員が1年生なので、先輩たちが築いてきた伝統を継承しつつも、新たな視点で磐田の魅力を発信してくれる期待しています！

経営学部 経営学科 4年 青島 里奈さん（静岡県立磐田農業高等学校出身）



We are  
Top Athletes.

### TOPICS 学生アスリートに寄り添い、可能性を広げます。

トップアスリート部は、強化スポーツクラブ（※）に属さない競技で全国・国際大会に挑む学生を支援するクラブです。2025年11月現在、競技や活動場所が異なる5名の学生が在籍。さまざまな領域の専門家が学業との両立、卒業後のキャリア形成を支援していきます。また月例部会などでの交流を通して、アスリートならではの悩みにも寄り添います。学生が安心して競技に打ち込める環境を整え、大学進学を諦めざるを得なかったマイナー競技の高校生アスリートの選択肢を広げていきたいと考えています。

#### 強化スポーツ推薦入試 【トップアスリート型】

- ・本学の強化スポーツクラブ（※）以外の競技において優れた実績を持ち、入学後も競技を継続する意思のある選手を対象とした入試です。
- ・プロとして競技活動を行っている選手や、世界大会出場レベルの競技実績を有する選手が対象となります。
- ・選考は、面接および志望理由書・レポートの提出によって行います。出願には、スポーツ振興部長の推薦および事前面談が必要です。

\*強化スポーツクラブ 硬式野球部、サッカー部（男・女）、体操部（男・女）、トランボリン部、バレー部（磐田／男・女、藤枝／男・女）、バスケットボール部（男・女）、陸上競技部、柔道部（男・女）、ダンス部、フットサル部の全10競技17クラブ

### 特集 2

## 学生アスリートを支援する 新クラブ誕生。

静岡産業大学では2025年度の入試から、「強化スポーツ推薦入試【トップアスリート型】」を導入しています。これに伴い2025年7月、「トップアスリート部」が本格始動。既存の強化スポーツクラブにはない競技において、トップレベルで活躍するアスリートの学生生活や競技活動を支援します。

# HUMAN



## 好きな言葉は、“No pain, no gain” — 痛みなくして得るものなし —



2025年には、浜松市で開催された「平和と人権シンポジウム」に学生バネリストとして登壇し、平和や人権について意見を交わしました。このシンポジウムに参加できたのは、2025年3月に

### 磐田市の発展に貢献したい

#### ふじのくに国際交流親善大使

公益財団法人静岡県国際交流協会が、静岡県の大学に通う留学生や外国にルーツを持つ静岡県在住の若者を対象に、静岡県と世界を結ぶかけ橋として活躍してくれる人材を民間大使に任命。親善大使は県下の多文化共生活動に参加し、母国の文化を広く紹介するとともに、意見交換などを通じて国際理解を深めます。

留学期間は有限です。だからこそチャンスがあれば何でも挑戦しようと心に決めました。また、ミャンマー自身のことを誰かに伝えたいという気持ちも芽生え、1年次の2月に「第10回袋井日本語スピーチコンテスト」に登場。「大人になった私」というテーマのスピーチで、なんと優勝することができました。

ミャンマーは地域によって教育の格差が激しく、私は7歳から親元を離れて寮生活をしていました。その境遇を憂い

### 多種多様な異文化交流活動

2025年はたくさんの異文化交流活動を行いました。8月には、ナチュラルコスメブランド LUSH 静岡店で

開催された多文化交流イベントに、本学のスリランカ出身の留学生とともに参加。トーケンセッションでは母国の現状や自身の思いを発表し、来場した方とも交流することができました。

9月には、浜松市で開催された「平

和と人権シンポジウム」に学生バネリストとして登壇し、平和や人権について意見を交わしました。このシンポジウムに参加できたのは、2025年3月に



私が一番好きな言葉は「No pain - no gain」(痛みなくして得るものなし)。つらい経験もして得るものなし」。つらい経験もありますが、私は今とても幸せです。これからも前進し続けます。目標は、TOEICと登録日本語教員の受験に挑戦すること。そして在学中にF.P.の資格を取得したいと思っています。どうぞこれからも、リヤンを応援してください!

開催された「春季ホームステイ」という交流事業で知り合った大学の先生に声をかけていたいたのがきっかけです。静岡産業大学への進学を決めたときもそうですが、私は一期一会を大切にしています。人との出会い、そこから生まれる新たなチャンスは「一度とないものなので、お誘いをいただいたら「やります!」と迷わず答えるようにしています。

隊の方とともに、農作業を体験したり、地域の高齢者を中心としたスマートフォン教室にも参加しました。現在はボランティア活動に参加したり、市内の中学生や高校生との交流を積極的に行っています。

### 私の好きな言葉

私は社交的で話し好きですが、一人暮らしが長いからか、実は静かな場所でゆったりと過ごすのが好きです。本を読んだり自分の気持ちをノートに書き出したり。編み物も得意です！

### [HU-MAN]

地域や社会で活躍している  
在学生や卒業生の様子を紹介

#### 母国と日本をつなぐ 活発な異文化交流

母国の文化や自身の経験を伝え  
国際交流につなげる

トウ・トウ・リヤンさん  
経営学部 経営学科 2年  
ミャンマー出身／仙台ランゲージスクール卒業



私は社交的で話し好きですが、一人暮らしが長いからか、実は静かな場所でゆったりと過ごすのが好きです。本を読んだり自分の気持ちをノートに書き出したり。編み物も得意です！

## 「リヤンならできる」。一期一会を大切に 日本にいる間にできることは全部やりたい

### 一期一会で静岡へ

来日後、まず仙台市の日本語学校で日本語を学びました。静岡産業大学との出会いは、日本語学校で開催された進学説明会です。後輩の留学生に日本語の通訳をしていた私に、大学案内

で来ていた静岡産業大学の職員の方が「うちの大学に来ませんか? リヤンさ

んなら留学生向けの学業特待生の試験にきっと受かると思うから」と声をかけくださいました。このご縁がきっかけ

で整って安全な国はどこかと考えたとき、真っ先に思い浮かんだのが日本でした。から抜け出すには何か行動を起こす必要があると考え、経営学を学んで会社を起こし、仕事を生み出せる人にならうと決意しました。母国では学びたい人道危機に直面しています。この状況にとつて必然の選択でした。教育環境が整つていて安全な国はどこかと考えたとき、真っ先に思い浮かんだのが日本でした。

### 経営学を学ぶために日本へ

私の母国ミャンマーでは、今も激しい紛争が続いている。家族は無事でし

たが、実家は爆撃で破壊され周りは焼け野原となりました。経済の混乱から失業者は増加の一途をたどり、まさに

人道危機に直面しています。この状況

を起こし、仕事を生み出せる人になろ

うと決意しました。母国では学びたい

教育を受けることは難しく、留学は私

を起こし、仕事を生み出せる人になろ

うと決意しました。母国では学びたい

教育を受けることは難しく、留学は私

を起こし、仕事を生み出せる人になろ

うと決意しました。母国では学びたい

教育を受けすることは難しく、留学は私

## PICK UP



### 磐田市駅前商店街活性化プロジェクトで 岡山県玉野市の復興を応援！



2025年3月に発生した岡山県玉野市の大規模山林火災。その復興の後押しをすべく、  
経営学部・熊王教授の経営学専門演習Aの受講生が、「軽トラ市」で玉野市の特産品を販売しました。



玉野市の名産品である海苔や塩を使った商品から、玉野産レモンをふんだんに使ったジャムやカステラ、ブッセなど約20品目を販売しました。



#### 地域に貢献できる人材を育てるために始めた 商店街活性化プロジェクトです

講義では商工会議所や市役所の方にもご登壇いただき、「軽トラ市」での実践活動では学生自らが制作したPOPを飾って集客に尽力。磐田市を通じて売上の一部を玉野市に寄付しました。



経営学部 熊王 康宏 教授  
専門分野：経営工学、感性工学、心理評価、マーケティング



玉野市の魅力を  
伝えたい！

経営学部 1年  
伏見 真衣さん  
(静岡県立静岡西高等学校出身)

人前に出ることが好きなので、イベント当日は積極的に呼び込みを行いました。「美味しいぞ！まだ買えますか？」と声をかけてくださったお客様がいて、商品に興味を持っていただくことがこんなにもうれしいことだと初めて知りました。POP作りでは、玉野市の魅力をどのように伝えるかグループ内で意見を出し合い、コピーに岡山の方言を入れるなど工夫をしました。今後もこうした活動に積極的に参加したいです！



恩返しの気持ちで  
取り組みました！

経営学部 1年  
村松 風亜さん  
(兵庫県・滝川第二高等学校出身)

高校時代に部活動で、岡山県出身の選手たちと一緒にプレーした経験があることから、今回の復興支援には恩返しのような気持ちで取り組みました。自分の持ち味であるサッカー部のキャプテンで培った統率力を、軽トラ市では存分に發揮できたと感じています。この経験を経て、今後は静岡や日本の課題の中から自分にできることを見つけ、その解決に向けて取り組んでみたいと思うようになりました。



デザイン初心者の学生もPOP作りに挑戦！デザインツール「Canva」で作ったPOPは大好評でした。

# INFORMATION

### 浦田周社木版画美術館 第13回企画展

## 富士のあるふるさと

浮世絵の伝統技法で描いた  
富士山のある風景の数々をお楽しみください。

開館日／月～金曜日 9:00～18:30

(大学長期休講期間 月～金曜日 9:00～16:30)

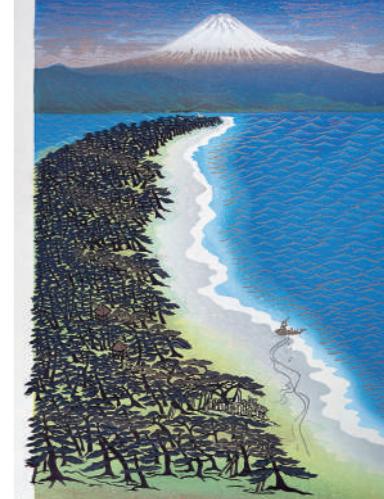
休館日／土曜日、日曜日、国民の祝日、本学行事開催日、大学休校日

入館料／無料

住所／静岡産業大学藤枝キャンパス

(メディア・アートセンター藤枝図書館内)

〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号



### ■ 大学行事予定 (2025年後期)



12月23日(火)	冬季休講(～1月4日まで)
1月10日(土)	スポーツ科学部 卒業研究発表会
1月13日(火)	月曜授業
1月14日(水)	自然災害による授業予備日
1月15日(木)	経営学部 卒業研究発表会
1月16日(金)～ 1月18日(日)	大学入学共通テスト 学内立ち入り禁止
1月31日(土)～ 2月1日(日)	経営学部卒業研究・制作展

2月12(木)	成績公開
3月7日(土)	父母等相談会
3月12(木)	卒業式
3月20日(金・祝)	オープンキャンパス
3月24日(火)	在学生オリエンテーション (AMスポーツ科学部新4年、PM経営学部新4年)
3月25日(水)	在学生オリエンテーション (AMスポーツ科学部新3年、PM経営学部新3年)
3月26日(木)	在学生オリエンテーション (AMスポーツ科学部新2年、PM経営学部新2年)

入試のため学内立入禁止(12月13日(土)、2月5日(木)、2月20日(金)、3月13日(金))

### ■ 図書館のご利用について

藤枝キャンパス		磐田キャンパス	
開館時間	月～金曜日 9:00～19:00*	月～金曜日 9:00～19:00*	
休館日	土曜日、日曜日、国民の祝日、本学行事開催日、大学休校日		
利用資格		静岡産業大学学生・教職員、一般市民	
お問い合わせ	054-646-5441	0538-36-8844	

\*閉館時刻が変更になる場合があります。

### ■ 大学施設のご利用について

本学では、授業およびクラブ・サークル活動で使用する時間を除き、学外の方も大学施設を利用することができます。  
詳しくは各キャンパスの総務課・事務局までお問い合わせください(一部施設は有料となります)。

藤枝キャンパス		磐田キャンパス		BiViキャン(藤枝駅前セラライトキャンパス)	
利用可能時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
主な施設	各種講義室、コンピュータ演習室、体育館、フットサルグラウンドなど	各種講義室、グラウンド、スポーツセンター、テニスコートなど	講義室、セミナールーム、活動交流スペースなど		
お問い合わせ	054-645-0191(藤枝キャンパス 総務課) (受付時間 9:00～17:00)	0538-37-0191(磐田キャンパス 総務課) (受付時間 9:00～17:00)	054-639-7164(BiViキャン事務局) (受付時間 9:00～17:00)		

# NEWS & TOPICS

本学で行われている学生による活動やイベント情報、お知らせを毎号お届けします。

## ANNOUNCEMENT



### 静岡産業大学と沖縄県立那覇西高校が 県境を越えた学び始動

本学は、沖縄県立那覇西高等学校と教育交流協定を締結しました。両校の教育資源を活かし、高大連携講座の実施や生徒と大学生・教職員の交流を通じて、豊かな教養と社会貢献意識を持つリーダー人材の育成を目指します。本学にとって県外高校との協定は初めてであり、那覇西高校にとっても県内外の大学との初の取り組みとなります。仲吉健一校長は「体育教員を中心に交流を深めたい」と述べ、堀川知廣学長も「生徒が専門性を高め地域に貢献することを期待」とコメントしました。今後は教員の出張講義や交流を通じ、スポーツ科学・経営学の学びを広げ、静岡と沖縄をつなぐ新たな学びの架け橋を築いていきます。

## NEWS



### 本学初！ 中川優希さんが全日本学生体操競技で金メダル獲得

8月19日から22日まで青森県弘前市の青森県武道館で開催された「第79回全日本学生体操競技選手権大会」において、本学スポーツ科学部3年の中川優希さんが、難度の高いあん馬の種目別で見事金メダルを獲得しました。全国から約400名の選手が集い、熱戦を繰り広げるこの大会での金メダルは、本学体操部としても初の快挙です。日々の厳しい練習に加え、指導者や仲間の支えを受けて培われた技術と精神力が結実した結果であり、地域の皆さんや在学生、保護者の皆さんにとっても誇れる成果となりました。静岡産業大学は今後も学生の挑戦を全力で支え、さらなる活躍を期待しています。

## EVENT



### 経営学部学生が全国優勝！ 「学生プレゼンテーション」全国大会で快挙

経営学部4年の松本一花さんが、株式会社マインドシェア主催の「学生生活で成長したこと」をテーマにした全国学生プレゼン大会で見事「優勝(Best of best)」を果たしました。全国各地の予選を勝ち抜いた7名による決勝で、松本さんは「考動力～変化と成長～」をテーマに、自身の大学生活での挑戦と成長を堂々と発表。テーマに沿った発表内容が高く評価され、「大学の学びが自分を変えたことがよく伝わった」「母校愛を感じた」と審査員からも絶賛されました。発表後は「笑顔で伝えられた」と満足そうに振り返り、感謝と喜びを語りました。静岡産業大学での学びが、確かな力へとつながったことを示す快挙です。

## NEWS



### 大学生初の快挙！ 塩津将真さん、総理大臣杯決勝の主審に抜擢

経営学部4年の塩津将真さんが、第49回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント決勝で、大学生として初めて主審を務めました。高校時代から審判員として活動し、現在は2級審判員としてプリンスリーグや東海学生リーグなどで経験を重ねています。総理大臣杯には第48回から参加しており、決勝での大学生主審は史上初の快挙です。伝統ある大会で主審を務めるには高度な判断力と責任感が求められますが、塩津さんはこれまでの実績と今大会での活躍が評価され、抜擢されました。試合後には「いつも通りできた」と語り、積み重ねた経験の成果を示しました。卒業後も社会人として活動を続けながら審判員としての成長を目指す塩津さんの今後に期待が高まります。

## PROJECT



### 学生が地域の魅力を発信 地域情報誌『ふじえ～ら』特集制作に挑戦

本学の学生が、藤枝市の株式会社藤枝江崎新聞店と連携し、地域情報誌『ふじえ～ら』の特集紙面制作に2号連続で取り組みました。本プロジェクトは、企画立案から取材、記事執筆に至るまでを学生が主体的に行うもので、地域社会や企業と連携しながら実践的に学ぶ「社会実践講座」として実施されています。学生はプロの現場に触れながら、地域の魅力を自らの視点で発信しました。9月号では、経営学部2年の五十右蓮さんと1年の前田鼎さんが「ほかには負けないこだわりを持つお店」をテーマに、静岡県天然記念物・大慶寺の久遠の松エリアを中心に現地取材を実施。地域の方々の温かさや、商品づくりへの情熱、そして藤枝の新たな魅力を再発見しました。

続く10月号では、経営学部4年の松本一花さんと松井鍊さんが「岡部宿の歴史を紐解く」をテーマに、シェアサイクルを活用した取材を企画。岡部宿の歴史や文化を掘り下げながら、若い世代にも親しみやすいSNS映えスポットの紹介やInstagramとの連動企画にも挑戦しました。学生たちは、取材活動を通じて地域の人々とのつながりを深めるとともに、期日を意識した記事制作の大切さを体感。2人の指導教員である万浪靖司准教授からも「現場での経験が就職を控える学生にとって大きな学びになった」との評価が寄せられました。

本学では、今後も地域や企業との連携を通じ、学生が主体的に社会と関わり、学びを深める機会を積極的に推進してまいります。

## ANNOUNCEMENT

ダウンロードはこちらから▶  
試合結果をリアルタイムで確認できます！



### 本学のスポーツ公式アプリが誕生しました!!

6月より、本学スポーツ公式アプリ「静産大SPORTS」を開きました。本学の強化スポーツクラブの試合の活動や試合結果、その他の最新情報を発信することで、クラブに関わる皆さまとの応援の輪を広げます。ぜひご利用ください。



## PICK UP

### 職員紹介



田辺 楓子（教務課）  
趣味：アニメ・アーリティシヨー鑑賞  
ニックネーム：ふうちゃん

掛川市出身。外国語学部卒業後、民間企業に2年半勤める。その際に本学の学生と関わる中で、学生の力になりたいという思いが芽生え、2024年10月入職。



Q. どんな仕事をしているの？  
成績管理や履修指導、教職免許の取得支援などを通じて、学生の学びのサポートをしています。

Q. 入職してからの思い出は？  
教員採用試験に合格した学生から「ありがとうございます」と言われたこと。

Q. 学生の皆さんに一言！  
人にやさしく、自分自身にポジティブに向かい合い、毎日を大切にして過ごしてほしいです。